

長春市長会議の参加都市募集中!

「冬における発展」のテーマのもと、第12回世界冬の都市市長会議が中国・吉林省の省都・長春で、2006年1月15日から18日まで開催されます。

会議では、冬季における「エネルギー対策」、「都市の緑化及び公共施設保全」、「食品の鮮度を保持する貯蔵方法や輸送」、そして「人的資源の合理的配置」などについて、市長間で意見交換が行われることになっています。会議には、非会員もオブザーバーとして参加することができます。

冬の見本市と冬の都市フォーラム

市長会議と同時に開催される「冬の見本市」では冬に関連した機材や製品が展示され、様々な技術交流や経済交流が行われます。一方、「冬の都市フォーラム」には、冬のまちづくりやライフスタイルの専門家、学術研究者が参加し、意見交換を行います。

< 長春市長会議の日程 >

- 1月15日(日) 開会式、理事会
- 1月16日(月) 総会、2010年市長会議開催立候補都市プレゼンテーション
小委員会報告
(持続可能な冬の都市計画小委員会、北方都市におけるテロ対策小委員会)
- 1月17日(火) 市長会議分科会
- 1月18日(水) 全体会議、ラウンドアップ・セッション
閉会式、記者会見、視察

登録料 市長会議 US\$450 (非会員都市代表者)
US\$250 (随行者)

冬の都市フォーラム参加料 US\$450

冬の見本市参加料 US\$250

* 上記には、全日程の昼食と夕食一回が含まれます。

登録の詳細については、長春市のホームページ <<http://www.ccfao.com.cn/wwcam/index014.html>> を参照してください。

世界冬の都市市長会の共同観光PR事業

市長会会員都市は、9月22日から24日まで東京で開催された「JATA世界旅行博」で共同ブースを設置し、10万人を超える来場者に冬の都市の魅力をアピールしました。参加したのは、長春(中国)、太白(韓国)、トロムソ(ノルウェー)、アンカレッジ(アメリカ)、青森、札幌(日本)の6都市。参加各都市は、海外旅行に関心のある多くの人たちに、観光パンフレットを配布したり、観光ビデオを放映し、冬の都市の魅力をPRしました。

例えば、韓国・太白市のブースでは、韓国のゲームを行ったところ、瞬間間に来場者の長い列ができ、ゲームの景品が足りなくなるほどでした。また、青森市のブースでは、伝統芸能である津軽三味線を演奏したところ、ブースの周りに大きな人だかりができ、来場者は津軽三味線の演奏に聴きほれていました。参加した世界冬の都市市長会会員都市の旅行情報を求める熱心な博覧会来場者の様子に、関係者は手応えを感じていました。

美しい冬の風景

冬の夜空を彩るオーロラ、雪像や氷の彫刻、冬を楽しむ祭りの数々、涼しくさわやかな夏の気候、白夜... 冬の都市の魅力は尽きません。冬の期間が短く、雪もほとんど降らない東京周辺から訪れた来場者は、会員都市の「冬の美しさ」や「冬のレジャー」に強い関心を示していました。

冬はそこに生きる人々にとって大きな脅威となることでもあります。同時に最大の資源であり財産でもあります。雪一面の美しい景色は多くの旅行者にとって魅力的なものです。世界冬の都市市長会では、この「冬」を貴重な財産・資源として、今後も共同で観光誘致を進めていこうと考えています。

世界冬の都市市長会では、来年中国・北京市で開催される「北京国際旅博覧会」に出展し、人口1,200万人を超えてめざましい経済発展を遂げている北京で、さらに多くの旅行者に冬の都市の魅力をPRすることを予定しています。

実務者会議が開催されました

世界冬の都市市長会の実務者会議が、2005年7月13日から15日まで韓国の太白市で開催されました。太白市の洪淳市長から歓迎の挨拶があり、その後会員都市の行政実務担当者など39名が2006年に開催される第12回市長会議の開催計画案や市長会活動について協議を行いました。

第12回市長会議の計画案

第12回市長会議は、2006年1月15日から18日まで中国・長春市において開催されます。その会議の開催都市長春から、全体テーマ「冬における発展」や具体的な論点などについて説明があり、下記のディスカッション・テーマが確認されました：

< 冬における環境問題 >

- 都市の緑化対策
- 民間団体や市民団体の公共施設維持管理への参画

< 冬季の市民生活における課題 >

- 食品の鮮度を保持するための貯蔵および輸送方法
- オープン・スペースの建設
- 冬の観光資源開発による都市の経済発展について

また、市長会議と同時に開催される「冬の見本市」、「冬の都市フォーラム」の参加要件などについても、長春市より説明がありました。

国際旅遊博覧会

会員都市が共同で行う事業として、2006年度は、中国・北京市で開催される「国際旅遊博覧会」に出展し、各都市の観光PRを行うことが実務者会議で決議されました。

2006年実務者会議

2006年の実務者会議は、グリーンランドの首都であり、フィヨルドと緑の美しい風景で有名なヌーク市で開催されることが決定しました。

韓国・太白市

実務者会議が開催された太白市は、朝鮮半島東部に位置し、ウィンター・スポーツや冬のレジャー活動が盛んな都市としてよく知られています。

今回の会議には、長春、チチハル、瀋陽(中国)、ヌーク(グリーンランド)、青森、札幌(日本)、太白、春川(韓国)、カウナス(リトアニア)、ウランバートル(モンゴル)、トロムソ(ノルウェー)、アンカレッジ(アメリカ)の各都市が参加しました。

会議では、会員都市の実務者が顔を合わせて協議することにより、2006年の市長会議の準備に向けてコミュニケーションを深め、お互いの絆を強めることが出来ました。

「世界冬の都市市長会」会員都市紹介

カウナス(リトアニア)

ヨーロッパの東、リトアニアのほぼ中心に位置し、面積156km²、人口約41万人のカウナスは、ネムナス川とネリス川の合流点にあるリトアニア第二の都市で、約600年の歴史を誇っています。「カウナスを見ずしてリトアニアを語れない」と言われているほどリトアニアを代表する都市です。

30以上の博物館や美術館があり、スタイリッシュなレストランやバーが点在するその優雅な雰囲気から、「リトル・パリ」とも呼ばれています。特に、作曲家であり画家でもあったM.K. チュリオニスの彫刻と悪魔の絵画コレクションは、世界最大規模を誇っています。また、春には、ジャズ・フェスティバル、夏にはバズァイスリス修道院で音楽会や演劇などが開催されています。

カウナスへは、列車や航空機、船やバスなどあらゆる交通手段が利用でき、容易に訪れることが出来る。

ノボシビルスク(ロシア)

WWCAMの事務局都市札幌の姉妹都市であるノボシビルスク市は、2005年1月に世界冬の都市市長会会員となりました。2005年8月からは、ノボシビルスク市のサヴィヌイフ・アンナさんが札幌市の国際交流員として勤務しています。アンナさんにノボシビルスク市について紹介してもらいました。

ノボシビルスク市の歴史は約120年、とても若い街で、90年代は不況など様々な経済的な問題に苦しみましたが、今では景気も回復し、街の雰囲気も明るくなってきています。札幌の雪祭りにヒントを得た「シベリア雪祭り」のほか、イルミネーションで飾られた松の木を囲んで家族団らんを楽しむ「ヨルカ祭り」や「氷の遊園地」祭りもあり、ウィンター・スポーツも盛んです。クロスカントリーやスケート、アイスホッケーの競技場が市内至る所にあり、学校では体育の授業に取り入れられています。クロスカントリーと射撃を組み合わせたバイアスロンも盛んで、バイアスロン世界選手権がノボシビルスク市で開催されています。

雪が降り始めるのは10月下旬頃からで、4月頃には解け始めるため、一年の半分が冬となります。厳寒期には、マイナス40℃まで気温が下がりますが、主に火力発電の余熱を利用したセントラル・ヒーティングがほとんどの建物に完備されているため、冬でも家の中は暖かく、快適です。

降雪量はあまり多くないのですが、除雪と交通渋滞が冬の大きな課題になっているので、世界冬の都市市長会議をとおして、除雪や交通問題について会員都市から様々な先進事例を集め、参考にしたいと考えています。その他、冬に限定した問題ではないのですが、ノボシビルスクではゴミを分別するシステムが完備されていないので、環境汚染が問題となってきています。ゴミの分別システムについても、他の会員都市と情報交換が出来ればよいと思っています。

WWCAM会員都市で開催されるイベント

中国・長春、2005年12月初旬～2006年2月
中国バーサロペット国際クロスカントリー・スキ大会
リトアニア・カウナス、2005年12月3日
カウナス・ジャズ2005コンサート・オブ・ザ・イヤー
中国・瀋陽、2006年5月～10月
世界園芸博覧会
中国・長春、2006年8月
民族手工芸品フェア

World Winter City Newsでは、アンケートを実施しています。抽選で10名の方に、かわいいノルッキーマークの入った2007年FISノルディックスキー選手権札幌大会グッズをプレゼントします。

締め切りは、12月31日。WWCAMのwebサイトからアンケート頁にアクセスし、ご応募下さい。

(<http://www.city.sapporo.jp/somu/kokusai/wwcam/>)